



⑩ジャパンラグビートップリーグから100万円の寄付⑪場外ではストリートラグビーやタッチラグビーなど多彩なイベントも(写真はウィルチェアラグビー)⑫イベント運営にはボランティアの協力が欠かせません⑬トップリーグの選手と交流(キッズラグビー)⑭釜石東中の生徒と平原さん⑮平野恵里子さん(左)の指導

①V7メンバー泉秀仁さんの先制トライ②現役を彷彿とさせる競り合い③あれ?どこかで見たことが...④衰え知らずの華麗なパスワーク⑤伊藤剛臣さん(青のジャージー)は、神戸製鋼OBとして回転トライを決めるなど会場を沸かせました⑥レジェンド入場!⑦栄光の時代を築いてきた名プレーヤーら⑧来場者の思いが込められたメッセージフラッグは市に寄贈されました⑨県中学校選抜の片山寛太さん(右、釜石中3年)、俊足をとばしてトライ



KICKOFF! KAMAISHI! 8.19

釜石鵜住居復興スタジアム オープニングイベント

夢へつながる希望の架け橋
スタジアム落成

2015年3月、ラグビーワールドカップ2019™(RWC2019)日本大会の12会場で唯一、スタジアムのない中、開催が決定した釜石。あれから3年。復興のシンボルとして、夢の舞台「釜石鵜住居復興スタジアム」が完成し、晴れ渡る空のもと、ついにオープニングを迎えた。

約6500人の観衆が見守る
オープニングイベント

RWC2019日本大会の会場の一つとなるスタジアムの完成を祝い、8月19日、竣工式が執り行われ、記念試合などさまざまなイベントが開催されました。まず、ジャパンラグビートップリーグの選手と小学生らのラグビー交流会からはじまり、女子RWC日本代表平野恵里子さんとリオ五輪女子日本代表の兼松由香さんによる女子ラグビー講習会。そして、岩手県中学校選抜と横浜ラグビースクールがスタジアムの初戦を飾り、大人顔負けのスピード感溢れるプレーでスタンドを沸かせました。オープニングセレモニーでは、歌手の平原綾香さ

んが「Jupiter」や釜石東中生徒と共に「いつかこの海をこえて」を披露。また、森喜朗日本ラグビーフットボール協会名誉会長をはじめとする、来賓の皆さんも招待し、スタジアムのオープニングを盛大に祝いました。今後は、RWC2019に向けて、仮設スタンドなどの設置を行います。

よみがえる名プレーの数々
レジェンドマッチ

ともに日本選手権7連覇を果たした新日鐵釜石OB(赤)と神戸製鋼OB(青)によるレジェンドマッチでは、往年の名選手らが現役時代さながらのプレーを披露。V7メンバーで戦った前半は神戸OBが7-5で辛勝。この日集まったOB全員参加による後半は24-17で釜石OBに軍配が上がりました。釜石OBでレジェンドマッチに出場し、NPOスクラム釜石のキャプテンとしてRWC招致にも尽力した松尾雄治さんは「震災は忘れられないけれど、この震災があつて、今の釜石の姿がある。マイナスをプラスに変えていくのが釜石。ワールドカップを成功させよう」と呼び掛けました。

三陸防災復興プロジェクト2019 プレイベント

東日本大震災からの復興に取り組んでいる場を伝えるために、8月18日、三陸防災復興プロジェクト2019プレイベントが、釜石市民ホールTETTOで開かれました。釜石商工高校の虎舞や釜石高校吹奏楽部と音楽部による演奏、歌手の平原綾香さんのミニライブなどが催され、最後に出演者と来場者約700人が「翼をください」を合唱。復興への願いを共有し心を一つにしました。同プロジェクトは2019年6月～8月にかけて当市他12市町村で、防災や減災をテーマにしたシンポジウムや伝統芸能、祭りを集めたイベントなどを開催します。



連増拓也県知事(中央)が大槌高校復興研究会の生徒と三陸防災復興プロジェクトの実施を宣言しました

ポップアップミュージアム

RWCの優勝トロフィーや公式球などを巡回展示する「ポップアップミュージアム」が8月18日、19日の両日、釜石市民ホールTETTOで開かれました。日本代表チームのサイン入りジャージーや2019年大会に出場するチームの紹介パネルなども展示され、家族連れやラグビーファンらがRWCの世界感を体感しました。



優勝トロフィーの展示

スタジアムオープニングイベント パブリックビューイング

8月19日、スタジアムオープニングイベントをより多くの市民らに楽しんでもらおうと企画された、パブリックビューイング。オープニングセレモニーなどのダイジェストとメモリアルマッチの生中継を放映しました。メモリアルマッチでは、釜石シーウェイブスRFCの得点チャンスが訪れるたびに声援や拍手で盛り上がり、集まった約500人が現地の興奮を共有しました。

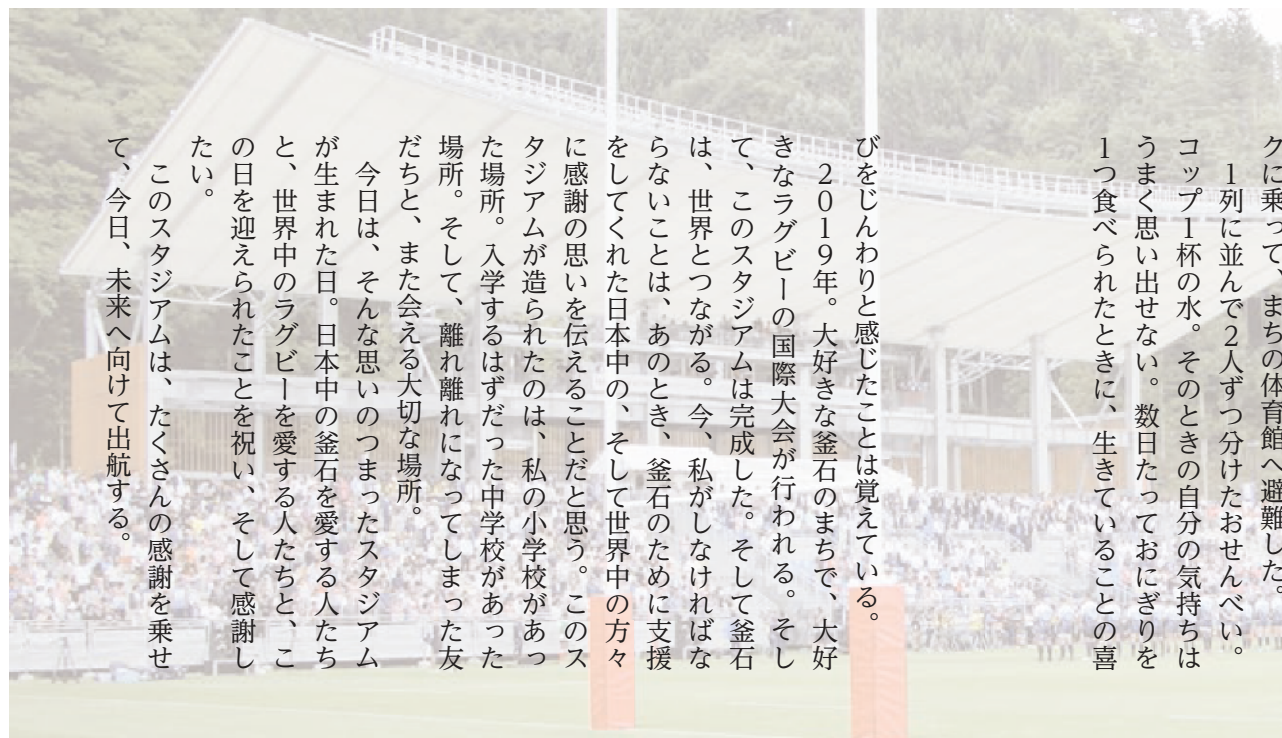


シーウェイブスのトライに盛り上がる会場

スタジアムオープニング関連イベント



①ケイン・コテカ、追撃のトライ②大漁旗に背中を押されて攻め上がります③ユース・フィサーの先制トライ④ハーフタイムはEXILEと釜石東中などの生徒らによるRisingSun(ダンスで日本を元気に!夢の課外授業中学生RisingSunProject2018)⑤キャプテン、決死のセービング



わたしは、釜石が好きだ。海と山に囲まれた、自然豊かなまちだから。わたしは、釜石が好きだ。空気も人の心も温かくて、きれいなまちだから。わたしは、ラグビーが好きだ。中学2年生の時、2015年のラグビーワールドカップイングランド大会を現地で観戦して、スタジアムの雰囲気とその迫力に圧倒されたから。わたしは、ラグビーが好きだ。試合後、ファン同士が敵味方関係なく握手をし合い、一緒になってごみ拾いをする姿に感銘を受けたから。

7年前の3月11日。小学校3年生だった私は、算数の授業を受けていた。防寒着を来て、校舎の5階へ逃げた。土砂崩れが起きれば、鵜住居を飲み込む津波が見えたかもしれない。けれど、私は「とにかく逃げなきゃ」と焦っていた。たまたま通りがかったトラックに乗って、まちの体育館へ避難した。

1列に並んで2人ずつ分けたおせんべい。コップ1杯の水。そのときの自分の気持ちはうまく思い出せない。数日たっておにぎりを1つ食べられたときに、生きていることの喜びをじんわりと感じたことは覚えている。

2019年。大好きな釜石のまちで、大好きなラグビーの国際大会が行われる。そして、このスタジアムは完成した。そして釜石は、世界とつながる。今、私がしなければならぬことは、あの日、釜石のために支援をしてくれた日本中の、そして世界中の方々に感謝の思いを伝えることだと思う。このスタジアムが造られたのは、私の小学校があった場所。入学するはずだった中学校があった場所。そして、離れ離れになってしまった友だちと、また会える大切な場所。

今日は、そんな思いのつまったスタジアムが生まれた日。日本中の釜石を愛する人々と、世界中のラグビーを愛する人々と、この日を迎えられたことを祝い、そして感謝したい。

このスタジアムは、たくさんの感謝を乗せて、今日、未来へ向けて出航する。

半6分、釜石のフルバック、ユース・フィサーが敵陣ゴール前の密集から出されたボールをトライ。コンバージョンキックも決めて7点を先制しました。その後、一進一退の攻防を繰り返して、釜石は14-15とリードを許し前半を折り返します。後半に入り、ヤマハは4分、14分と連続トライ。15点差をつけ、粘る釜石を引き離します。釜石は、足を抑え倒れこむ選手も出てくる中、後半38分フランクのケイン・コテカ、ラストワンプレーでセンターのニック・ユーストが連続トライ。

前

「このスタジアムは、たくさんの感謝を乗せて、今日、未来へ向けて出航する」洞口留伊さんの力強いキックオフ宣言。釜石シーウェイブスRFCがトップリーグのヤマハ発動機ジュビロと対戦したメモリアルマッチは、互いにトライを奪い合う激しい試合となった。

響く釜石コール 応える全力プレー

メモリアルマッチ



未来への船出

釜石高校2年 洞口 留伊

